



# ハロー！東田

東田自治区だより  
 第291号(1)  
 平成27年6月発行  
 編集：広報委員会  
 (毎月15日発行)

## 東田自治区が誕生して60周年に

東田自治区は昭和30年(1955)年6月に土橋自治区から分離独立し、今年20日に60周年を迎えます。自治区として特別な記念行事は行いませんが、先月号に引き続き特集記事を掲載します。今月は特別に2部(2枚)構成で、第1部(裏面)で自治区の歴史の一部を紹介するとともに、第2部でいろいろな方の思いをお伝えします。

## ふるさとづくり委員交流会を開催

6月6日(土)、ハローホールで平成27年度「東田ふるさとづくり委員交流会」が開催され、29名が出席しました。この会議は、自治区役員や区内の諸団体が参加し、各団体の活動等を報告するとともに、自治区の問題を話し合っ住み良いまちづくりを進めるために毎年開かれています。



- 参加者・参加団体
- ・区長、副区長、書記、会計、監事
- ・環境部、安全部、文化部、体育部、福祉部、地域活性化部
- ・各エリア長、自治区事務員
- ・女性会、ジュニアクラブ、A子ども会、B子ども会、東田子ども塾、緑寿会、東田広報委員会
- ・地域会議委員、保護司、民生児童委員、豊田スポーツ推進委員、消防団
- ・東田発展会、氏子会、厄年会、市議

この日は各種団体からの活動報告や活動計画の発表に続き意見交換を行いました。特にこの日は老人クラブの加入年齢、呼び方が話題になり、加入年齢を75歳以上にすべきとか、呼び方を変えるべきとかの意見が出ていました。

## 新たな消防団員が誕生

さらに募集中!

このほど、消防団員に右田清さん(写真右・中A7組)が参加されることになりました。東田自治区からはすでに中垣貴博さん(中B13組A)が自ら志願して参加されており、合計2名となりました。配属先は「豊田市消防団第3方面隊第12分団第1部」。12分団は竜神中学校区がエリアで、さらに第1部(池畑陽太郎部長・土橋町)は土橋、東田、緑ヶ丘が担当エリアとなります。



消防団の活動は火災時の消火だけでなく、地域における消防・防災のリーダーとして、常時、非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。また自治区で行われる盆踊り、秋のお祭り、大晦日の警備などで活躍しています。現在、消防団員を募集しています。参加していただける方は区事務所までご連絡ください。

## ハローホールで清掃奉仕活動

女性会

女性会はハローホールの清掃奉仕活動を年5回行っています。5月16日(土)、南エリアの会員10名の参加で1回目が行われ、各部屋、ロビー、トイレなどがきれいになりました。次回は7月11日(土)で、東エリアの会員の当番です。皆さんのお陰で、このように気持ちよく使用できるんですね。感謝を忘れずに使いましょ。



## お知らせ

### ◆全市一斉「環境美化の日」にご協力を◆

- ◇日時/6月21日(日)午前7時～  
 小雨決行(荒天時は28日に延期)
- ◇分別/集めたごみは分別してください。刈草や木、砂と泥は自治区で回収するため8時30分までに各ごみステーションに出してください。

### ◆「花いっぱい事業」参加のお願い◆

- ◇日時/6月21日(日)午前10時～12時
- ◇集合/ハローホール(9:45から受付)
- ◇持ち物/園芸用具を持参(貸し出し用あり)
- ◇要領/環境美化が終了しだい始まります。  
 花苗・肥料は花壇に配達します。

### ◆組長会◆

- ◇日時/7月5日(日)午後7時～8時30分
- ◇場所/ハローホール2階 集会室
- ◇内容/ふれあい盆踊り大会について、その他

### ◆夏の交通安全市民運動・立哨活動◆

- ◇期間/7月11日(土)～7月20日(月)
- ◇立哨/7月13日(月)午前7時～8時
- ◇場所/サークルK前、中西電機前、ガスト前、  
 神戸屋前の各交差点

### ◆女性会 ハローホール清掃奉仕活動◆

- ◇日時/7月11日(土)午後10時～
- ◇担当/女性会の東エリアの方

### ◆第34回東田ふれあい盆踊り大会◆

- ◇日時/8月1日(土)  
 午後5時30分～9時30分
- ※雨天の場合は8月2日(日)に順延
- ◇場所/ふれあい広場
- 練習日:7月29日(水)、30日(木)  
 午後7時～9時  
 ハローホール2階  
 (シューズを持参)



すでに太鼓連の練習が始まっています。36名の子どもたちが登録(6月7日撮影)

### ◆寿栄会コンペ参加者募集◆

- ◇日時/8月23日(日)午後0時5分スタート
- ◇場所/ロイヤルカントリー倶楽部下山
- ◇料金/会費2,000円、プレー料金15,680円  
 ※詳細は回覧にて(申し込み書あり)

東田自治区は一昨年5月のイベントをきっかけに豊田市北部、稲武地区の大野瀬自治区と交流を始めています。このほど大野瀬梨野営農組合が地元で収穫したさつま芋と地元産のお米ミネアサヒを使って芋焼酎「大野瀬・温(ぬくもり)」を完成させました。2000本の限定で1本15000円。道の駅「とんぼりの里」で販売していますが、すでに完売かも。

昨年6月には東田自治区から数名が芋の苗の植え付けに参加しました。その後8月の東田ふれあい盆踊り大会には大野瀬自治区が五平餅で出店していただき、一方10月に行われた大野瀬の秋祭りには東田から区長ら数名が参加するなど、交流を深めています。今年8月の盆踊り大会には昨年に引き続き大野瀬自治区の五平餅が出店予定です。山村部と都市部の交流は多様な楽しみ方を提供してまいります。



## 稲武・大野瀬の芋焼酎が完成

東田とも交流



## 道路工事に伴う通行止めのお知らせ

東田自治区を東西に横切る県道(都市計画道路水源橋線)の工事は曙町交差点から東の区間で全線の完成に向け工事が進められています。またこの工事に伴い、県道と交差する市道の改良工事が始まっています。今月から新たに県道北側のセブイレブン東側の市道と南側の豊田通商西側の市道が工事に入り、通行止めや片側交互通行になります。このため、すでに始まっている道路工事と時期が重なることから、この4本の市道が一時的に全線通行止めになる場合があり、県道に平行する裏側の市道と県道との行き来ができなくなります。ご不便をおかけしますが、「寿町7丁目東」の信号交差点(○印)を利用してください。なお工事の担当は、愛知県豊田加茂建設事務所道路整備課(TEL 35・9321)です。

## 東田心風 ～時間の速さ～

家の片付けをしていた時、昔読んだ1冊の新书が目にとまりました。生物学者が書いた「ソウの時間 ネズミの時間」という論説。体の大きなソウはゆったりと動き、小さなネズミはちょこまかと動くことからわかるように、生物学的な「時間の流れ」は動物の体のサイズによって変わる、というお話から始まっています。体重が16倍になると、生物学的な時間の流れは2倍になるとか。なるほど、時間の流れって面白い。そういうのは、歳を取るほど時間の流れを早く感じる、なんてことをよく耳にします。ちょっと調べてみたら「ジャンパーの法則」という学説を見つけた。曰く「人が感じる時間の長さは年齢に反比例する。50歳の人にとっての10年間は5歳児にとっての1年間に相当する」とのこと。つまり「5歳児にとっては1年間の長さは人生の5分の1を占めているのだけど、50歳の人にとっては1年は人生の50分の1に過ぎないので、短く感じるのだ」という説明。これまた納得。

さてさて。今月号の特集は「東田自治区設立60年」。区民のみならずそれぞれこの地で暮らしてきた時間をどう感じていますか?たまには昔を振り返りながら、ゆったりとした時間を過ごすのも良いかも。(も)

今月は両面、2部構成です

**STARTS** 認知症対応型グループホーム  
 グループホームきらら豊田緑ヶ丘  
 緑ヶ丘7-52 TEL 25-2228

**碧海信用金庫**  
 寿町 3-5-1 TEL 24-3611

共に創る。共に生きる。  
**大和ハウス工業株式会社 豊田支店**  
 Daiwa House. 豊田南町7丁目40番地 電話 0565-23-1880  
 http://www.daiwahouse.co.jp

宴会 法要 承ります  
**松風** ホテル  
 緑ヶ丘 5-11 TEL 28-2797(代)

各種機械部品、治工具、試作など製造、設計  
**岩月工業所(株)**  
 TEL 0565-714123



60周年記念特集 (第1部)



東田自治区設立60周年に寄せて

東田自治区長 中根眞了

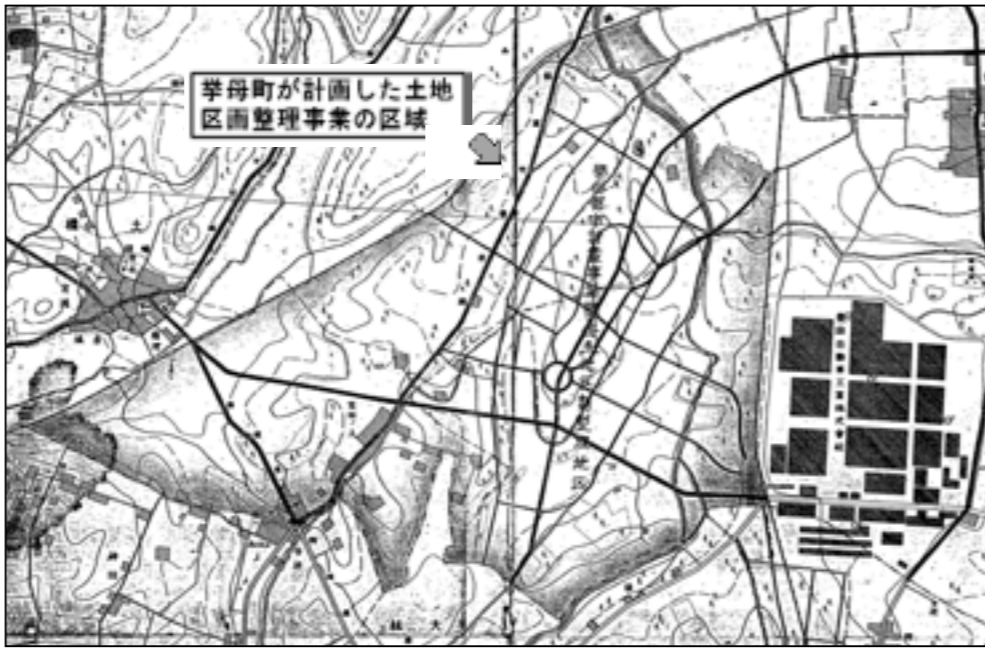
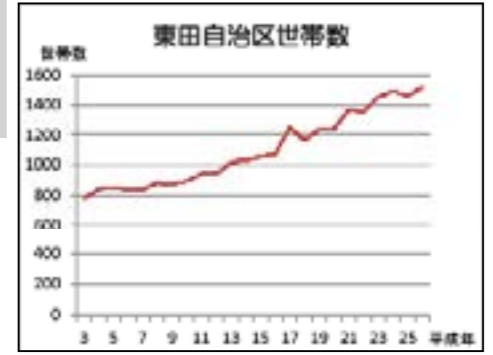
東田自治区独立60周年を迎え、区長として自治区発展に尽くされた先人のご努力に改めて敬意を表するとともに、感慨

の一端を述べさせていただきます。今から60年前は昭和30年であり、当時はトヨタ自動車も本社工場のみでこの年に国産初の量産型乗用車トヨタパットクラウンが誕生した年であり、それから60年、クラウンが東田自治区と共に還暦を迎えたこの年に量産型燃料電池自動車「ミライ」が誕生しました。東田自治区は自動車産業の発展とともに成長してきました。この先も未来志向でトヨタや地域、区民の皆様と共に発展して行きたいと思っております。

東田はその昔、山之手だった

町名設定秘話

現在の東田自治区の区域は、寿町、緑ヶ丘を中心に、竜神町、大林町などにも広がっています。寿町は全域東田自治区ですが、町としての緑ヶ丘は東田自治区と緑ヶ丘自治区にまたがっています。ややこしいですね。実は、かつて東田も緑ヶ丘も「大字(おおあざ)山之手」の一部でした。昭和12年にトヨタ自動車工業(株)が設立され、昭和13年に拳母(こころも)工場(現在の本社工場)が建設されると、同年、当時の拳母町(こころもち)は、将来の人口増加や町の発展を予想し、拳母工場の西側約220haの土地区画整理事業を計画決定しました。町が事業主体となって行う土地区画整理事業としては全国初であったようです。この計画に沿って、少しずつ道路等が整備され始めましたが、戦争のため進みませんでした。戦後の昭和22年4月、この区画整理事業の区域が「大字山之手」として独立し、この中に寿町などモダンな名前前の10個の小字(こあざ)が設定されました。昭和26年、拳母町が拳母市になっても大字山之手は続きました。



昭和22(1947)年4月に設定された「大字山之手」と10の小字。山之手は東京の山之手を引用したと言われている。



現在の町名。この町名と区域は昭和34(1959)年1月1日の市名変更と同時に変更された。この時、自治区の境と町の境が異なったまま現在に至る。

その後、昭和34年に拳母市が豊田市に市名変更された際、大字、小字が廃止され、現在まで続く新たな町が設定されました。この時、自治区の区域と町の区域が一致しないまま設定され現在に至っています。またこの時、自治区の名前をどうするか山之手小学校で話し合われ、町名は「寿町」と「緑ヶ丘」、自治区名は「東田」となりました。(参考資料・東田自治区史、豊田市史ほか)

県道(水源橋線)の拡幅事業や枝下用水のパイプライン化を機に東田は大きく変わっていった

A collage of 16 photographs showing the development of Higashida. The photos are arranged in a grid with red arrows pointing downwards, indicating a timeline of progress. The images include: a traditional thatched roof (1947), a festival (1966), a playground (1966), a one-way street (1994), a road intersection (1992), a road construction site (2010), a concrete factory (1997), a cultural asset (1998), a festival (1990), a hall (1992), a playground (1993), a water pipeline (1994), a road intersection (1992), a road construction site (2010), and an apartment building (1997).

今月は両面、2部構成です

フォト & ムービー サービス  
写真&ビデオ撮影・空撮  
KK・アルバ  
寿町 4-57-2 TEL 24-6005

陸運局指定民間車検工場 早い!一日車検  
自動車の修理・販売  
株式会社 寿自動車钣金  
寿町 2-47-1 TEL 27-4789

エクステリア&ガーデン  
株式会社豊田ガーデン  
ガーデニングミュージアム花遊庭  
寿町 4-54 TEL 28-2601

ビジネスホテル  
豊田ビラジ  
寿町 2-36 TEL 27-1411 FAX 27-1616

電気に関することはすべてお任せ  
新東電気工事  
寿町 8-32 TEL 28-1215